

坂東地域アグリ通信



平成29年8月20日
坂東地域農業改良普及センター 発行
Tel : 0297-34-2134 Fax : 0297-34-3291

第4回坂東地域アグリセミナー「先進農家研修」を開催しました

7月21日（金），坂東地域農業改良普及センターにおいて，第4回坂東地域アグリセミナー「先進農家研修」を開催しました。今回のセミナーは，県西3地区の広域講座として実施し，新規就農・若手農業者22名が参加しました。

当日は，坂東地域の代表的な品目である夏ネギの栽培に取り組む農業経営士と女性農業士を訪問し，夏ネギの栽培方法や出荷調製について研修を行いました。

1軒目の農家では，調製場で質疑応答の形で話を聞き，その後に調製設備を見学しました。質疑応答では，栽培体系等に関することから，品種や具体的な病害虫の防除方法といった質問も挙がり，幅広い内容の話を聞くことが出来ました。

2軒目の農家では，ネギ栽培のポイントと，これからネギを作り始める受講生に向けたアドバイスがありました。その後，実際に調製作業を見学しました。

参加した受講生は，作業場の写真を撮影したり，積極的に質問をするなどネギ栽培に対する関心の高さが伺えました。



古河市の3団体が，食のアドバイザーと意見交換会をしました

7月24日（月），道の駅まぐらがの里こがにて，古河市の女性農業者団体「桃HANA❀」，6次産業化を手掛けている法人「t a - b oファーム」，「古河市の4Hクラブ」の3団体が，市の委託で農業者の支援をしている食のアドバイザーと意見交換会を開催し，普及センターも参加しました。

意見交換会では，古河市産農産物のブランドアップについて，活発な議論がなされ，食のアドバイザーから新しい視点でたくさんの具体的なアドバイスをいただくことができました。普及センターでもこれらのアドバイスを念頭に古河市の新しい農業の形を一緒に模索していくとともに，広く情報発信していきたいと考えております。



平成29年度坂東地域経営管理研修会を開講中

坂東地域農業改良普及センターでは、『複式簿記の基礎コース』と『パソコンによる簿記記帳実践コース』の2コースからなる「坂東地域経営管理研修会」を開講しています。

『複式簿記の基礎コース』は、2日間で複式簿記の基礎を理解し、3日目にパソコン簿記ソフトの操作の流れを体験する、3日間で1セットの講座です。今年は、7月31日、8月1日、3日に開催し、9名が参加しました。

講座では、ホワイトボード用紙をベニヤ板に貼り付けて独自に作成した大きな元帳と仕訳帳を掲げ、受講生の目の前で書いて説明するスタイルで行っていますが、「独学では理解できなかった仕訳帳の書き方がわかるようになった」と好評でした。

参加者の3名が、さっそく今年からパソコン簿記ソフトを活用して複式簿記記帳を実施することになり、9月から『パソコンによる簿記記帳実践コース』に参加することになりました。

『パソコンによる簿記記帳実践コース』は、「貸借対照表付きの決算書で青色申告をしたい」という意欲のある農業者を対象にしたコースで、毎月1回、普及センターで開催しており、今年は4月から開講しています。興味のある方は、是非お問い合わせください。



坂東市に農業後継者クラブ「案山子（かかし）」が設立されました

7月24日（月）、坂東市に新たに設立された農業後継者クラブ「案山子」の定例会が開催され、普及センターも支援を行いました。「案山子」は、猿島4Hクラブを引退後も仲間と交流の場を確保したいという思いを持ったOB6名が集まって、今年度設立されました。

定例会では活動方針等の検討を行い、現在の主な活動である各種講習会の開催及び参加に加えて、今後は栽培試験や研修旅行も実施したいなどの意見も出てくるなど、幅広い活動が期待される内容となりました。

会長の野口氏は「案山子」の設立にあたり、「35歳近くで新規就農した情報があった際は、すぐ引退となるために4Hクラブへの参加を呼び掛けられなかった。この組織が受け皿となれば、そういった新規就農者とも交流が図れる。」とメリットを説明していました。

今後も普及センターでは、後継者クラブの活動支援を行っていきます。



編集後記

ヒグラシが鳴くようになり夏の終わりを感し始めている、今日この頃です。

夏の甲子園、熱い戦いが続きました。茨城の土浦日大高校は残念ながら敗退してしまいましたが、それでも見ごたえのある試合が多く、見入ってしまうことが多々ありました。野球とか、したくなりますね。

梅雨にはあまり雨が降りませんでしたが、ここ最近、曇りや雨の日が多いですね。これからは、台風の子供が入ってきます。注意しながら、体を第一に、がんばりましょう。（鹿島）

